

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービススパーク稲城オレンジ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間で子どもの状況や状態が常に共有されている事	毎日支援後にミーティングを行い、その日の支援についての反省を行い支援の良かったこと改善点を見える化している。	ミーティング内容を次回の支援に行かせるよう、朝のディスカッションでも再度確認を行う。また、職員個々の支援の方向性を合わせられるよう話し合いを行う。
2	先生が子ども達と全力で遊ぶこと	年2回のスパークの研修を受けスキルアップを図っている。また、遊びの内容は常にグレードアップできるよう日々のディスカッションの中でアイデアを出し合っている。	出し合った遊びのアイデアを職員で実践し、考えられる子どもの状態を想定しておく。また、遊びを見える化し他の職員が行った遊びをいつでも実践できるよう残しておく。
3	職員1人1人の子どもを見立てるスキルを持っている	職員同士で子どもの様子を共有し見立てるようにし、1人の意見だけを反映しないよう心掛けている。定期的に行っているアセスメントは会議形式にし、色々な視点からアセスメントを取るようになっている。また、人の意見を聞くことでスキルアップを図っている。	アセスメントからの確かな支援方法を実践する事。また、見立てと違うことがあってもチームで共有し、いつでも変えるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎範囲が狭いこと	送迎車が1台のため範囲が限られている。送迎の希望に添えないことがある。	送迎エリアを設け、徒歩通所の受け入れを積極的に行っている。
2			
3			